

### ■会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社  
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)

本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2

代表番号 03-6735-0785

URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>

設立 2010(平成22)年2月1日

資本金 30億円

事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

### ■役員

代表取締役社長	中川 清貴	取締役 監査等委員(社外)	瀬川 静真
専務取締役	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
取締役	石井 昭	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	杉本 尚彦	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	橋本 博文		
取締役	五味 英隆		

### ■グループ会社

- 丸善雄松堂株式会社  
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- 株式会社図書館流通センター  
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- 株式会社丸善ジュンク堂書店  
〒160-0008 東京都新宿区三栄町29
- 丸善出版株式会社  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
- 株式会社hontoブックサービス  
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20 DNP五反田ビル

2018年

今後の  
IRカレンダー

- 6月中旬 第9期 第1四半期決算発表
- 7月31日 中間日(株主権利確定日)
- 9月中旬 第9期 第2四半期決算発表
- 9月下旬～10月上旬 株主様向け「ビジネスレポート」に株主優待商品券を同封して発送

1単元(100株)以上ご所有の株主様に、全国の丸善・ジュンク堂書店の店舗\*でご利用いただける商品券をお送りいたします。  
\*ご利用店舗一覧は当社ホームページにて公開しております。

決算情報や株主優待の詳細は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.maruzen-chi.co.jp>



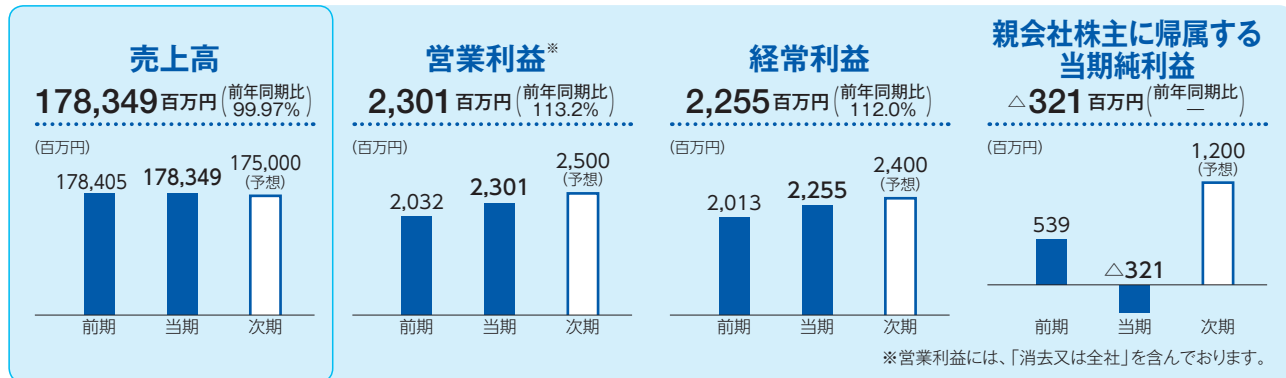
この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

# 知

# BUSINESS REPORT

## 株主・投資家の皆さまへ

第8期 2017.2.1 - 2018.1.31



文教市場販売事業 34.0%

売上高 60,655百万円(前年同期比 99.3%)  
営業利益 3,123百万円(前年同期比104.3%)

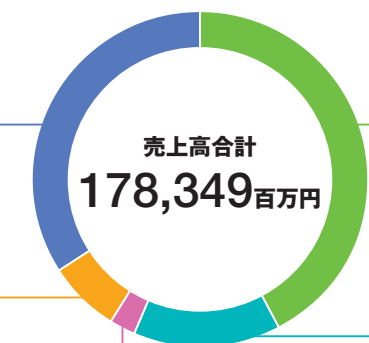
● 図書館業務機器や電子書籍関連売上は伸びましたが、公共図書館及び大学向け書籍販売が減少した結果、売上高は606億55百万円(前年同期比0.7%減)と微減となりました。しかし原価、販管費等のコスト削減により、営業利益は31億23百万円(前年同期比4.3%増)と増益となりました。

その他事業 7.1%

売上高 12,535百万円(前年同期比91.5%)  
営業利益 379百万円(前年同期比73.2%)

● 小売店舗を中心に企画・設計デザインから建設工事・内装工事・店舗什器・看板・ディスプレイなどのトータルプランニングを行う店舗内装業の主要顧客の投資意欲減退の影響により、売上高は125億35百万円(前年同期比8.5%減)と減収となり、営業利益は3億79百万円(前年同期比26.8%減)と減益となりました。

売上高構成比



出版事業 2.4%

売上高 4,318百万円(前年同期比96.7%)  
営業利益 40百万円(前年同期比25.2%)

● 専門分野として『東京大学工学教程 基礎系数学 確率・統計II』『環境とエビゲナム』『続・図書館空間のデザイン』『ギヤノン生理学 原書25版』『教育社会学事典』、児童書として『お世話遊びとボタンの練習(ペネロペシリーズ)』『しずくちゃん29』『IMAGINE イマジン(想像)』『よく考えて!説明のトリック(縮刷版)』など、合計新刊245点(前年297点)を刊行いたしました。新刊刊行数の減少等の影響により、売上高は43億18百万円(前年同期比3.3%減)と減収となり、営業利益も40百万円(前年同期比74.8%減)と減益となりました。

店舗・ネット販売事業 42.4%

売上高 75,683百万円(前年同期比99.1%)  
営業利益 △326百万円(前年同期比 — )

● 店舗のスクラップアンドビルド及び複合化、多角化等集客力の向上に注力してきましたが、依然市場環境は厳しく、売上高は756億83百万円(前年同期比0.9%減)と減収となりました。利益面では、販管費の削減に努めた結果、前年同期に比べ改善しましたが営業損失は3億26百万円(前年同期9億78百万円の営業損失)となり、利益計上には至りませんでした。

図書館サポート事業 14.1%

売上高 25,155百万円(前年同期比110.3%)  
営業利益 1,628百万円(前年同期比 84.1%)

● 図書館受託館数は、期初1,206館から159館増加し、平成30年1月末時点では1,365館(公共図書館533館、大学図書館188館、学校図書館他644館)となり順調に推移しております。その結果、当事業の売上高は251億55百万円(前年同期比10.3%増)と増収となりましたが、新規受託館の準備費用の発生及び人件費の上昇等により原価及び販管費が増加したため、営業利益は16億28百万円(前年同期比15.9%減)と減益となりました。



丸善CHIホールディングス株式会社  
代表取締役社長 中川 清貴

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

弊社グループの平成30年1月期業績は、売上高は、図書館サポート事業が引き続き受託館数が伸び増収となりましたが、店舗・ネット販売事業をはじめとする書籍販売関連全般で、市場の厳しさの影響から、前年比僅かに減収の1,783億49百万円(前年同期比0.03%減)となりました。

利益面では、出版事業や、その他事業の中の小売店舗向け内装工事事業で減益となるなど、厳しい状況もありましたが、文教市場販売事業は、販管費の圧縮や、大学・教育機関向け設備・工事の原価率改善により増益となりました。また、店舗・ネット販売事業は市場全体が引き続き厳しい状況にある中で、店舗運営コストの抑制や、グループ物流倉庫の活用による品ぞろえの充実に努めた結果、同事業のセグメント利益は黒字化には至らなかったものの、前年から大幅な改善となりました。その結果、営業利益は23億1百万円(同13.2%増)、経常利益は22億55百万円(同12.0%増)となりました。しかしながら、店舗・ネット販売事業で、将来発生する退店時の撤退費用をあらかじめ債務に計上する資産除去債務について、近年の撤退費用発生実績等から見積りの変更を行ったことと、現在の業績状況を踏まえ同事業での将来収益をより厳しく見直したことなどにより、17億98百万円の減損損失を計上したことで、遺憾ながら親会社株主に帰属する当期純損失は3億21百万円(前年同期は5億39百万円の黒字)となりました。

このような当期業績も踏まえ、弊社グループでは、今後の一層の成長のため次の施策を実行してまいります。まず、弊社グループとして、店舗・ネット販売事業の収益改善を最も重要な課題とし、継続的なスクラップアンドビルド、立地や顧客ニーズの変化に対応した売場改装や他業種との提携等による複合化、データ分析に基づいた店舗マネジメント力の強化、ITによるマーケティングとグループ物流倉庫を連動させた品ぞろえと提案力の強化などの施策を進めてまいります。

また、書籍販売市場は今後も縮小が継続することが予想されます。その中で弊社グループは、経営理念である「知は社会の礎である」のもと、本を使った学びの方法や、図書館における本を用いたコミュニティづくりなど、書籍がより多くの人の知的文化的生活に貢献するための方法や仕組みを提供してまいります。これらの取り組みを、これまで培った書籍販売のノウハウに加えることで、これからも弊社グループの事業が、より多くの人に知をお届けし、社会の礎としてご評価いただけるよう一層の努力をしております。

株主の皆さまには、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# TOPICS

トピックス



丸善図書館流通センター

## 石川県野々市市に「学びの杜ののいちカレード」オープン

2017年11月1日、石川県野々市市に文化交流拠点施設「学びの杜ののいちカレード」が開館しました。1階から天井までを貫く耐震壁を活かした「ブックタワー」が設置された図書館を核に、オープンギャラリー、創作スタジオ、キッチンスタジオ、音楽スタジオなどが一体的に整備されています。

館内に入ると、野々市の原風景『ののいちの輪』と森羅万象を表現した『世界の輪』が描かれたパオ(昇降幕)が目飛び込んできます。野々市市出身のアニメーション監督・米林宏昌氏がこの施設のために原画を描いてくださいました。おはなし会の際にはパオが下り、カーテンのように柔らかく周囲を覆います。

開館から約1ヶ月半の2017年12月16日には、早くも来館者10万人を達成し、記念イベントを行いました。予想よりも大きな反響に、地域の方々のカレードへの期待と関心の高さを実感しました。これからも利用者の方々のご期待に添えるよう、施設運営を担当する(株)図書館流通センター(以下TRC)はPFI\*構成企業の一員として誠心誠意努力してまいります。

\*PFI=民間主導の公共サービスの運営



## 第21回図書館を使った調べる学習コンクール表彰式を開催

「第21回図書館を使った調べる学習コンクール」(主催:公益財団法人 図書館振興財団)の表彰式が2018年2月24日に上野精養軒で行われました。作品の応募総数は全91,908点、前回に比べ約14,500点の大幅増です。5次にわたる厳正な審査の結果、32点3団体が入賞しました。

表彰式では、文部科学省、国土交通省、環境省からの祝辞と表彰状が手渡された後、最後に、作品『守る命 守れない命 ～外来種って何?? 特定外来種の殺処分を考える～』で文部科学大臣賞を受賞した袖ヶ浦市立平岡小学校5年生の柳田蓮くんが、作品について受賞者喜びのこぼれ話を述べました。柳田くんは、図書館を使って調べていくなかで生まれた沢山の人や本との出会いが、自分の「宝物」になったと話しました。

懇親会では、アメリカ・シカゴから応募した作品『世界一の仏～東大寺大仏のひみつにせまる～』で海外子女教育振興財団賞を受賞した船本唯さんが、海外で日本のことを調べる苦労を語りました。シカゴ双葉会日本語補習校の図書室には2万冊の本がありますが、大仏のことが書かれた本はほんのわずかだそうです。海外にもっと日本を伝える本がたくさん欲しいと思うのは彼女だけではありません。

TRCは、図書館を学校教育や生涯学習の場として多くの方に使っていただき、主体的に調べることの楽しさから「考える力・生きる力」が地域に根付くことを願い、「図書館を使った調べる学習コンクール」を支援しています。

## オンデマンド出版「手塚治虫全集」刊行開始

手塚治虫誕生90周年を記念して丸善ジュンク堂書店と手塚プロダクションが提携し、手塚プロダクション自らが編集を手がけた初の全集「手塚治虫全集」の刊行を開始いたしました。この「手塚治虫全集」は2017年11月3日より毎月3日に5タイトルずつ、約5年かけて全343巻を刊行する予定です。

オンデマンド出版(受注印刷)による刊行であるため品切れの心配がなく、丸善 丸の内本店、MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店、ジュンク堂書店 名古屋栄店、丸善 岐阜店内の「手塚治虫書店」では全点を店頭で展開し、すぐにお求めいただける他、全国の丸善ジュンク堂書店でご注文が可能です。



(株)丸善ジュンク堂書店



## 「Pontaポイント」「dポイント」を一部店舗に先行導入

丸善ジュンク堂書店は、お客様にとってより魅力的な書店となるべく、関東圏の26店舗に2018年4月16日より(株)NTTドコモ「dポイント」及び(株)ロイヤリティ マーケティング「Pontaポイント」の両共通ポイントサービスを導入しました。これにより、書籍・文具などの購入時にためて、つかうことができるポイントが「hontoポイント」に加えて3種類となります。一度のお買い物で「hontoポイント」と、「Pontaポイント」か「dポイント」のいずれかが同時にたまるなどの多様なサービスを提供し、今まで書店を訪れるきっかけがなかったお客様も店舗に来店し、そこに並ぶ出版物の魅力に触れられる環境を提供します。

丸善雄松堂(株)

## 知と学びのコミュニティづくりを目指し セカンドアカデミー(株)を完全子会社化

丸善雄松堂(株)は、2018年2月1日付でセカンドアカデミー(株)の全株式を取得し、同日、完全子会社化いたしました。同社は主な事業として、大学等が開催する公開講座の管理システム「Smart Academy」の販売・保守を行っており、早稲田大学・明治大学をはじめ20校以上での導入実績があります。また、首都圏有名私立大学を中心とする60校・約8,000講座を取り扱う、大学公開講座専用のポータルサイト「セカンドアカデミー」を運営しています。今後、同社との連携により、同社がもつ技術・実績と当社の大学向けソリューションを融合した公開講座の窓口・運用・運営機能等の拡充を進めます。そして、幅広い世代への学習機会の提供や、大学における地域連携の強化を推進し、当社が現在検討を進めている「知と学びのコミュニティ形成」の実現を目指します。これらを通して、既存顧客への一層の価値提供を図るとともに、新たな事業領域の確立と拡大に努めてまいります。



SecondAcademy



大学公開講座専用ポータルサイト「セカンドアカデミー」TOPページ

■ 財政状態 (単位: 百万円)

	当期末 (2018年1月31日現在)	前期末 (2017年1月31日現在)
総資産	135,003	131,993
● 流動資産	98,666	98,932
● 固定資産	36,230	32,940
(有形固定資産)	20,676	19,552
(無形固定資産)	1,392	1,274
(投資その他の資産)	14,161	12,113
● 繰延資産	106	120
負債	99,716	96,536
● 流動負債	71,808	67,465
● 固定負債	27,907	29,070
純資産	35,287	35,456
● 株主資本	34,444	34,784
● その他の包括利益累計額	△458	△567
● 非支配株主持分	1,301	1,239

■ 損益の状況 (単位: 百万円)

	当期 (2017年2月1日から 2018年1月31日まで)	前期 (2016年2月1日から 2017年1月31日まで)
● 売上高	178,349	178,405
● 営業利益	2,301	2,032
● 経常利益	2,255	2,013
● 親会社株主に帰属する当期純利益	△321	539

■ キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当期 (2017年2月1日から 2018年1月31日まで)	前期 (2016年2月1日から 2017年1月31日まで)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,795	2,331
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,410	1,453
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	21	△2,973
● 現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	—
● 現金及び現金同等物の増減額	1,398	812
● 現金及び現金同等物の期首残高	21,032	20,201
● 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	18
● 現金及び現金同等物の期末残高	22,431	21,032

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。



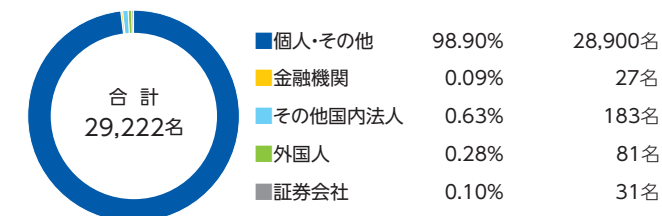
■ 株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	92,554,085 株
株主数	29,222 名

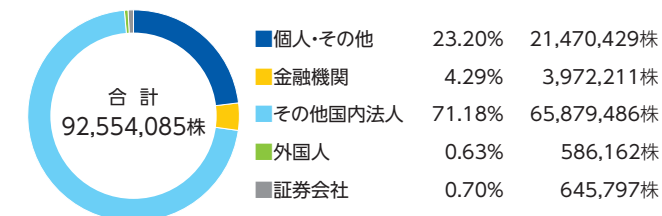
■ 大株主一覧

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大日本印刷株式会社	49,528,336	53.51
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社宝生堂	3,114,380	3.36
株式会社小学館	2,203,500	2.38
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,966,685	2.12
石井 昭	1,510,426	1.63
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99
日本出版販売株式会社	862,300	0.93

■ 所有者別株主分布状況



■ 所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己名義株式4,630株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	<a href="http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html">http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html</a>
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031
同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

単元未満株式の買取制度とは？

市場で売買できない100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができる制度です。

